

# ペットのための災害対策心得

杉並区では大災害が発生し避難勧告が発令されたら、避難所(杉並区では、区立の小中学校の震災救援所のことをいいます)に飼っているペットを連れて避難します(これを「同行避難」といいます)。

同行避難といっても、ペットは人とは離れた別の場所に避難することになります。また、飼い主が個々に用意するケージ内で、他の動物のケージと並べられ重ねられるような環境で過ごすことになります。世話は飼い主自身が行わねばなりません。

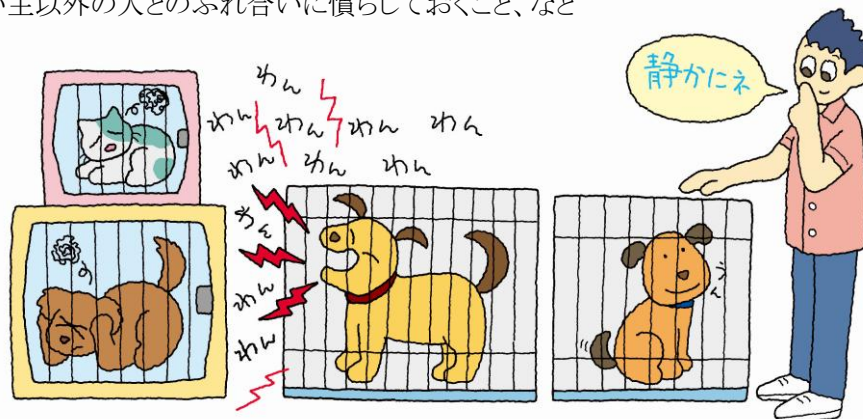
このような避難所での状況を考え、また災害時は想定外のことが起きる可能性も高いですから、大切なペットと避難生活を乗り切れるよう、平常時から十分な備えや必要な対策をしておきましょう。

## I 平常時の対策

### 1. しつけ

地域の防災拠点や同行した避難所でのトラブルを避けるため、飼い主は日頃からしつけを行っておきましょう。緊急時に安全に避難するためにも、他の避難者に迷惑をかけないためにも、基本的なしつけは必要です。

- ・ケージやキャリーバッグになれておくこと
- ・犬は、ハウス、まて、ふせ、などの服従訓練、無駄吠えしない、など
- ・猫は、飼い主以外の人とのふれ合いに慣らしておくこと、など



### 2. 健康管理

体調管理や感染予防は、動物自身の安全のためにも他の避難動物のためにも、必ず行いましょう。

- ・**混合ワクチン、狂犬病ワクチン、フィラリア予防、ノミ・ダニの予防と駆除**
- ・健康手帳を用意して、動物の健康記録を付けておくことと良い。
- ・持病のある動物のためには、特に薬の備えも重要。薬の常用が必要な動物には、多めの薬等の常備をしておくこと。

### 3. 個体識別

災害が起こると動物と離ればなれになってしまうことがあります。そんな時でも、動物が飼い主の元に戻ってこられるように動物の個体識別ができるようにしておきましょう。

- ・動物の特徴が細かく言えるように  
(種類・性別、首輪等の色だけでなく、体格、被毛の特徴、耳や尾の特徴など)
- ・**マイクロチップは鑑札や迷子札と違い取れてしまうことがないため、個体識別にとっても有効。**

犬:鑑札、狂犬病注射済票、迷子札、マイクロチップ

猫:迷子札、マイクロチップ

## 4. 避難生活の備え

救援物資はすぐには届きませんし、動物用の物資は遅れる可能性があります。ペットフードや水、薬は、最低でも5日分は準備しておきましょう。

また避難所で生活する場合、ケージなどが必要になりますが、杉並区では用意できません。万が一に備えて、動物が生活できる大きさのケージを用意しておきましょう。

『ペットのための防災用品』（いつでも持ち出せるようにまとめておきましょう）

- ・ キャリーバッグ・クレート（布製ではなく、重ねられる製品の方が好ましい）
- ・ フード・療法食・水（最低でも5日分）、おやつ（食欲がなくなった時のためにも）
- ・ 食器（折りたたみ式食器もあります）、ラップ（食器が洗えない時にも便利）
- ・ リード、ハーネス・首輪、洗濯ネット(猫の逃げ防止用)など
- ・ フン等処理するもの（ビニール袋、ゴミ袋、新聞紙、ティッシュペーパー等）
- ・ ペットシーツ（大きめのものだとマット代わりに、また包帯としても使える）
- ・ 猫用トイレ（簡易なもので代用もできる）、猫砂
- ・ 毛布、タオル等、使い捨てカイロなど体温管理や、衛生管理に必要なもの
- ・ 動物手帳（健康記録や動物の特徴を書き込んでおく）やペットの写真など
- ・ 薬（常用の薬は多めに手元に用意しておくこと）

犬や猫以外の動物用の救援物資は手に入らないと考えておいたほうがよいです。専用の餌や消耗品を多めに準備しておきましょう。

## 5. 地域防災計画について知っておく

地域の防災計画、避難場所、行政の動物防災対策、について確認しておきましょう。

## 6. 預け先の確保や、多頭飼育の場合の準備

親戚や友人など、いざというときに動物を預かってくれる先を探しておきましょう。

多頭飼育の場合で飼い主だけでは全頭を連れて避難できないと想定される場合には、あらかじめ周囲の人や友人などに協力をお願いしておくようにしましょう。

## 7. 避難訓練への参加

地域で実施されている避難訓練に積極的に参加しましょう。

避難ルートを確認し、避難方法や避難場所なども家族で話し合っておきましょう。また、飼い主同士のコミュニケーションを図り、情報を共有するようにしましょう。

※上記以外にも、災害時にどんなことがあっても対応できるよう、個々のペットに必要なと思われる備えを日頃からしておきましょう。

# II 災害が起こったら

第一に考えるべき事は、飼い主自身の安全と避難です。飼い主が無事でこそ、家族や家族の一員である動物を守るのです。日頃の準備が、ここで役に立ちます。

## 1. 状況確認

落ち着いて状況を確認しましょう。

家族の安全を確保すると共に、動物との同行避難に備えましょう。

## 2. 動物の様子の確認

普段はおとなしい動物でも災害発生時には、恐怖などで嘔みついたり暴れたりすることがあります。動物の行動や様子の変化に注意して、動物にも飼い主にも危険がないように対処しましょう。

### 3. 避難方法

- ・犬:コントロールできる長さのリードを付けて避難すること。  
小型犬はキャリーバッグに入れてあげると良い。
- ・猫:パニックや恐怖心から隙間などに隠れてしまうことがある。  
屋外に逃げ出さないように注意して、なるべく早くキャリーバッグや洗濯ネットなどに保護すること。
- ・鳥、小動物:逃げ出してしまった場合、見つけ出して保護するのはとても困難なため、屋外に逃げ出さないように素早く保護し避難中はケージが開いたり壊れたりしないように注意すること。
- ・水槽の動物:水槽は地震などで落ちたり倒れたりしないように事前に固定しておき、割れた場合に備えて、飛散防止フィルムを貼るなどしておくことより安心である。ヒーターやポンプなど、電気器具を使っている場合は、飼い主が避難する時に出火を防ぐためにもコンセントは抜くこと。

※いくつかの種類の動物を飼っている場合

普段は仲良くしていても、恐怖や不安から互いに攻撃することがあります。  
動物の種類ごとに分けて隔離できると良いでしょう。

※特定動物を飼っている場合

東京都動物愛護相談センター業務係(03-3302-3507)に個別にお問い合わせください。

## Ⅲ 同行避難についての Q&A

### Q. 1 どこに避難したらよいの？

- A. 1 住んでいるエリアで指定されている避難場所を、日頃から確認しておいてください。ペットは人が避難する場所と同じ避難場所に一緒に避難します。  
発災直後など避難場所にペットを連れて避難することが難しければ、ペットをすぐ連れ出せる安全な状態にして一時家に残し、後から連れて行くこととなります。その場合は外から見える場所(窓の内側など)に動物種、頭数、名前等張り紙をしておくとい良いでしょう。

### Q. 2 ペット用のケージは用意されているの？

- A. 2 **ケージは飼い主が用意してください。**

避難所には用意されません。

ケージは重ねられる素材のもので、スペースや他の動物のことも考え大きすぎないもの、ただペットはケージ内で基本的に過ごすこととなりますから、小さすぎもしない適切な大きさのものを用意しましょう。



【写真出典：横浜市旭区】

### Q. 3 ペットフードはどこでもらえるの？

- A. 3 ペットフード等ペットに必要な物は避難所には用意されません。**飼い主が自分で最低5日分のフードや水、その他必要と思われるものを準備してください。**

### Q. 4 同行避難って、ペットと一緒にいられるって事？

- A. 4 避難所は同じですが、その施設の中で**ペットと人は別の場所で過ごすこととなります。**

**Q. 5 ペットの世話は誰がしてくれるの？**

A. 5 食事や排泄物の処理も含め、**世話は全て飼い主が自分で行ってください**。世話をしてくれる人がいるわけではありません。

**Q. 6 ペットがケガをしたり、具合が悪そうだったらどうしたらいいの？**

A. 6 区内5か所の避難所に設置される負傷動物救護所に連れて行ってください。ここでは獣医師が動物にかかわる救護活動を行います。

**Q. 7 いつもの薬がなくなったら負傷動物救護所でもらえるの？**

A. 7 負傷動物救護所には色々な種類の薬が十分に用意されているわけではありません。  
**常用している薬や健康管理に必要と思われるものは、多めに飼い主が用意してください。**

**Q. 8 負傷動物救護所って動物病院みたいなもの？**

A. 8 仮設の動物救護所なので、動物病院のような設備や十分な薬は用意されません。応急処置以上の治療が必要な場合は、処置可能な動物病院に行ってください。

**Q. 9 ペットが逃げてしまったら誰に相談すればいいの？**

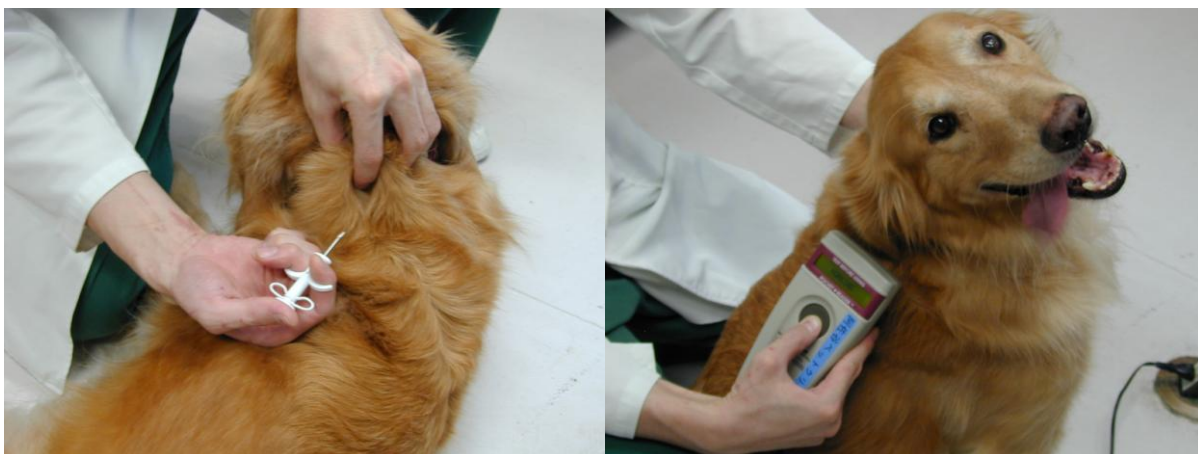
A. 9 都の動物愛護相談センター、または杉並区の保健所に連絡が可能であればしてください。できない場合は、負傷動物救護所に相談してください。その際、写真と共にペットの特徴(マイクロチップ装着の有無も)を記入した動物手帳があれば役立ちます。

**Q. 10 避難している間に迷子の動物を見つけた場合はどうしたらいいの？**

A. 10 上記9で挙げた3箇所の、連絡がつくところに相談してください。

**Q. 11 マイクロチップをペットに入れるにはどうしたらいいの？**

A. 11 **マイクロチップは動物病院で獣医師に埋込んでもらいます**。埋込みの方法は、一般的な皮下注射とほとんど変わらないため、動物への負担はそれほどありません。動物病院に事前に問い合わせから受診してください。



平成26年8月

公益社団法人 東京都獣医師会杉並支部

杉並保健所 生活衛生課

イラスト協力 いなだゆかり

【 杉並保健所 生活衛生課 】  
〒167-0051 杉並区荻窪5丁目20番1号  
☎ 03(3391)1991